

		事業担当局	まちづくり局																														
計画名	都市再生整備計画 川崎駅周辺地区	都市再生整備計画の計画変更	有 無																														
1 制度について	<p>国は全国の都市再生を推進するため、平成14年に「都市再生特別措置法」及び「都市再生基本方針」を制定し、大都市圏や地方都市における都市機能の高度化、地震災害や交通事故などの解消、安心して快適な都市の実現などを図ることとした。平成16年4月、都市再生特別措置法の改正と併せ「まちづくり交付金交付要綱」が制定され、市町村が都市再生基本方針に基づき都市再生整備計画を定めることにより、計画の事業に対し原則40%の交付金を受けられることができる制度である。平成22年4月、まちづくり交付金は地方公共団体にとってより自由度の高い「社会資本整備総合交付金」に統合され、市街地整備分野における基幹事業に「都市再生整備計画事業」として位置づけられている。</p>																																
2 評価委員会について	<p>(1)評価委員会の目的 事後評価等が適切に行われたことを中立・公平な立場で確認していただき、意見を求めること、及び今後のまちづくり方策等についても意見を求めることを目的とする。</p> <p>(2)審議事項について ・事後評価原案の公表等の手続の妥当性及び都市再生整備計画の目標・成果指標の達成度、効果発現要因の分析の妥当性。 ・事業成果、残された課題の整理と、今後のまちづくり方策の妥当性。</p>																																
3 都市再生整備計画の概要と実施事業（別紙資料1参照）	<p>(1)計画期間 平成18年度～平成22年度</p> <p>(2)全体計画事業費 4,354百万円</p> <p>(3)計画の目標 【大目標】 交通利便性が高い、都市機能が集積した活力と魅力にあふれる広域拠点の形成 【目標1】 駅東西地区の一体性を高めるための交通結節機能を向上し区内を往来しやすいまちづくりを推進する 【目標2】 東口駅前広場の再編と周辺の都市基盤施設等を整備し、人と環境にやさしいおいある都市空間づくりを推進する 【目標3】 駅東西地区の回遊性の強化とあわせ川崎らしいまちなみと個性的で賑わいあるまちづくりを推進する</p> <p>(4)計画に位置付けて実施した事業</p> <p>(基幹事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>日進町自転車駐車場整備</td> <td>73百万円</td> </tr> <tr> <td>宮本町自転車駐車場整備</td> <td>496百万円</td> </tr> <tr> <td>緑化施設、照明施設 整備</td> <td>322百万円</td> </tr> <tr> <td>歩行支援施設・障害者誘導施設整備【エレベーター（EV）、エスカレーター（ES）】</td> <td>431百万円</td> </tr> <tr> <td>” 【大屋根、シルター】</td> <td>2,100百万円</td> </tr> <tr> <td>JR川崎駅東口駅前 ES 整備</td> <td>160百万円</td> </tr> <tr> <td>京急川崎駅前 ES 整備</td> <td>219百万円</td> </tr> <tr> <td>京急川崎駅前 EV 整備</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>川崎地下街 ES 整備</td> <td>160百万円</td> </tr> </table> <p>(提案事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>川崎駅東口駅前広場修景整備事業</td> <td>84百万円</td> </tr> <tr> <td>川崎駅東口駅前広場計画調査</td> <td>13百万円</td> </tr> <tr> <td>川崎駅東口サイン計画策定事業</td> <td>4百万円</td> </tr> <tr> <td>川崎駅東口周辺自転車対策事業</td> <td>54百万円</td> </tr> <tr> <td>・まちづくり交付金事業効果検証調査</td> <td>3百万円</td> </tr> <tr> <td>・川崎駅周辺広域活性化事業</td> <td>35百万円</td> </tr> </table> <p>(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅市街地総合整備事業（公共空間等整備） ・（仮称）川崎駅西口堀川町地区開発事業 交通結節点改善事業（東口駅前広場再編整備） 都市再生交通拠点整備事業（東西自通EV、東西連絡EV） ・高質空間形成施設（東口ペDESTリアンデッキ新設） ・北口自由通路等整備事業 			日進町自転車駐車場整備	73百万円	宮本町自転車駐車場整備	496百万円	緑化施設、照明施設 整備	322百万円	歩行支援施設・障害者誘導施設整備【エレベーター（EV）、エスカレーター（ES）】	431百万円	” 【大屋根、シルター】	2,100百万円	JR川崎駅東口駅前 ES 整備	160百万円	京急川崎駅前 ES 整備	219百万円	京急川崎駅前 EV 整備	200百万円	川崎地下街 ES 整備	160百万円	川崎駅東口駅前広場修景整備事業	84百万円	川崎駅東口駅前広場計画調査	13百万円	川崎駅東口サイン計画策定事業	4百万円	川崎駅東口周辺自転車対策事業	54百万円	・まちづくり交付金事業効果検証調査	3百万円	・川崎駅周辺広域活性化事業	35百万円
日進町自転車駐車場整備	73百万円																																
宮本町自転車駐車場整備	496百万円																																
緑化施設、照明施設 整備	322百万円																																
歩行支援施設・障害者誘導施設整備【エレベーター（EV）、エスカレーター（ES）】	431百万円																																
” 【大屋根、シルター】	2,100百万円																																
JR川崎駅東口駅前 ES 整備	160百万円																																
京急川崎駅前 ES 整備	219百万円																																
京急川崎駅前 EV 整備	200百万円																																
川崎地下街 ES 整備	160百万円																																
川崎駅東口駅前広場修景整備事業	84百万円																																
川崎駅東口駅前広場計画調査	13百万円																																
川崎駅東口サイン計画策定事業	4百万円																																
川崎駅東口周辺自転車対策事業	54百万円																																
・まちづくり交付金事業効果検証調査	3百万円																																
・川崎駅周辺広域活性化事業	35百万円																																

(1)住民参加プロセス

【川崎駅周辺総合整備事業推進会議の開催】

実施時期：平成 18 年度～平成 22 年度
 実施回数：計 14 回（第 14 回は平成 23 年 2 月末実施予定）
 実施主体：川崎駅周辺総合整備事業推進会議
 （構成は市、学識経験者、市民、商工業代表）

実施内容：

平成 16 年度に設立された「川崎駅周辺総合整備計画策定協議会」（構成は市、学識経験者、市民、商工業代表等）において、川崎駅周辺総合整備計画が策定された。平成 18 年度から「川崎駅周辺総合整備事業推進会議」へ移行し、川崎駅周辺総合整備計画に位置づけられた事業の報告・確認、川崎駅東口駅前広場再編整備計画の検討、整備の進捗管理等を行うなど、市民協働のまちづくりを推進している。

(2)持続的なまちづくり体制の構築

【商業者による主体的な「かわさき TMO」の運営】

川崎駅周辺市街地（中心市街地）の活性化事業を推進するためのタウンマネジメント機関（かわさき TMO：H13.6.14 認定）の運営を商業者が主体的に行うようになった。

【かわさき TMO を主体とした事業の実施（イベント提携事業、地域共同販促事業、回遊性向上事業）】

かわさき TMO を主体とした川崎駅周辺におけるまちづくり活動が活発化し、集客増や賑わいの創出が実現できた。

成果指標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	実績値	目標達成状況
駅乗降客数	人/日	279,560 人	350,000 人	312,246 人	未達成
東口駅前広場から JR 川崎駅へ向う歩行時間の短縮	分	約 5.5 分	約 2.0 分	約 2.0 分	達成（見込み）
東西往来者数	人	29,997 人	約 76,000 人	49,262 人	未達成
東口駅前広場の満足度	%	32%	50%	70%	達成（見込み）

その他の数値指標

地区居住人口	人	26,996 人	-	32,210 人	-
川崎駅周辺地区における通行量	人・台/日	351,642 人・台/日	-	473,288 人・台/日	-

以上により、当初設定していた成果指標のうち、「東口駅前広場から JR 川崎駅へ向う歩行時間の短縮」及び「東口駅前広場の満足度」の指標については、目標値を達成する見込みである。また、その他の数値指標として追加設定した「地区居住人口」及び「川崎駅周辺地区における通行量」については、数値が向上する結果を得た。

定性的な効果としては、次のような効果が発現した。

- ・ H22.4 週間東洋経済「第 2 回住みたい駅力ランキング」第 1 位、H22.9 週間東洋経済「デフレ時代のお勧めエリア 604 駅」に選出、H22SUUMO「住んでみてよかった街ランキング」第 3 位に選ばれるなど、職・住・遊がバランスよく整備され、利便性が高い駅として選ばれる駅となっている。
- ・ 川崎駅周辺で実施したアンケート調査（H22.9）では、「違法駐輪が減った」との意見が見られ、社会実験時に行った放置自転車の撤去の徹底による効果が見られる。また、東口駅前広場については、「雨に濡れずに歩ける」「動線が増え、混雑が分散されて移動しやすい」といった回遊性の向上に対する意見や、「明るく開放的な駅前広場となった」「以前と比べ綺麗になった」といった印象が改善された意見が多く見られた。さらに、「環境配慮技術導入の満足度」に対しては、9 割がよいと答えるなど高評価であった。

6 まちの課題の変化	<p>(達成された課題)</p> <p>エレベーター・エスカレーターの設置やサイン等の誘導施設の設置により、歩行者動線の輻輳が緩和し、スムーズな移動が可能となったことから、回遊性が向上した。</p> <p>エレベーター・エスカレーターの増設により、自由通路と地上部との上下移動がスムーズとなった。駅前広場の再編整備により、バスターミナルや市街地への平面移動を可能とし、利用者の利便性や安全性が高まった。</p> <p>社会実験の実施結果、自転車歩行車道の分離の有効性や押し歩きの実現性が確認された。</p> <p>(未解決の課題)</p> <p>JR川崎駅の東西市街地を結ぶルートが限定されていることにより、依然として東西自由通路の混雑が見られる。</p> <p>今後2箇所の駐輪場整備も行うが、依然として駐輪スペースが不足している状況にあり、引き続き対応が必要である。</p> <p>(新たな課題)</p> <p>駅周辺のマンション開発による人口増加や羽田空港国際化等による集客を見据え、JR川崎駅と京急川崎駅との連携を図り、広域交通拠点としてのさらなる機能向上が求められる。</p> <p>川崎駅に近接する富士見公園では、都心における総合公園としての機能回復等が求められており、川崎駅周辺における商業・業務機能と憩いの場としての機能等を連携・強化することにより、総合的な集客機能を備えたまちづくりを推進する必要がある。</p>
7 今後のまちづくり方策	<p>「今後のまちづくり方策」は、「6まちの課題の変化」における未解決の課題及び新たな課題について、今後の方向性を提案するものである(例: ” ” に反映)。</p> <p>”川崎駅東西市街地の円滑な通行を推進するため、東西自由通路における駅利用者や周辺利用者動線の分散化を図るとともに、東西市街地を安全・円滑に行き来できるルートを整備する。</p> <p>”更なる放置自転車対策を促進するため、駐輪施設の整備とともに、市民ボランティア等を活用した駐輪場の利用誘導や自転車走行マナーの向上に向けた啓発活動を推進し、利用者意識の改革を図る。</p> <p>”川崎駅の回遊性、拠点性の向上を図るため、川崎駅周辺の多様な事業主体の連携を強化するとともに、商業者や地域住民等が主体となってまちの活性化に取り組む。また、JR川崎駅と京急川崎駅との連携を強化するとともに、羽田空港国際化により増加する外国人観光客やビジネスマンを集客するための方策を検討する。</p> <p>”駅周辺の既存の施設を活用し、住民や来街者の憩い空間の創出やスポーツやレクリエーションなどの活動の拠点機能の強化を図ることにより、川崎駅と富士見公園の連携を強化する。</p>
8 公表と意見の募集について (別紙資料3参照)	<p>(1)事後評価の公表と意見募集について</p> <p>次の方法により事後評価原案の公表及び意見募集を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だよりにて事後評価原案の公表・市民意見の募集について広報 (平成22年10月1日発行・約55万8,650部) ・市ホームページに事後評価原案の公表・市民意見の募集を掲載 (掲載期間:平成22年10月6日~11月4日) ・市街地整備推進課、各区役所、支所、出張所、情報プラザ等に事後評価原案の公表・市民意見の募集のパンフレットを配布 (配布期間:平成22年10月6日~11月4日・155部配布) <p>(2)意見募集の結果について(意見数 6件)</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この数年間で、関連施設や賑わいの増加等、川崎駅周辺は大きく変わったなと感じた。 ・以前川崎駅を利用した時、案内標識が分かりづらかったが、今後改善するようなので期待したい。 ・ガラス張りの屋根を設けるようだが、清掃は適宜行い、曇ることのないように管理してほしい。 ・駅東口周辺施設への誘導が不十分である。通路混雑の解消や東口と西口のアクセスを良くしてほしい。
9 今後のスケジュール	<p>今後のスケジュール(予定)</p> <p>平成22年12月 国土交通省へ事後評価シートを提出</p> <p>平成23年 3月 事後評価の公表(市ホームページに掲載)</p> <p>平成23年 4月以降 フォローアップの実施 (見込み値で計測した成果指標について確定値を計測し公表する)</p>